



2017年7月31日

各 位

株式会社 大京
(コード番号：8840)

通期売上戸数に対する契約および 通期大規模修繕工事売上高に対する受注は 順調に進捗しており、通期業績予想に変更なし

当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収入が前年同期比66億10百万円減の647億72百万円(同比9.3%減)、営業利益は同比21億53百万円減の4億80百万円(同比81.8%減)、経常利益は同比20億27百万円減の4億69百万円(同比81.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は同比12億49百万円減の1億56百万円(同比88.9%減)となりました。

これは、マンション販売において、竣工戸数が前年同期と比べ少ない計画であったことなどによるものですが、各事業における通期予想に対する進捗は概ね想定通りであり、本年5月に発表した通期の業績予想に変更はありません。

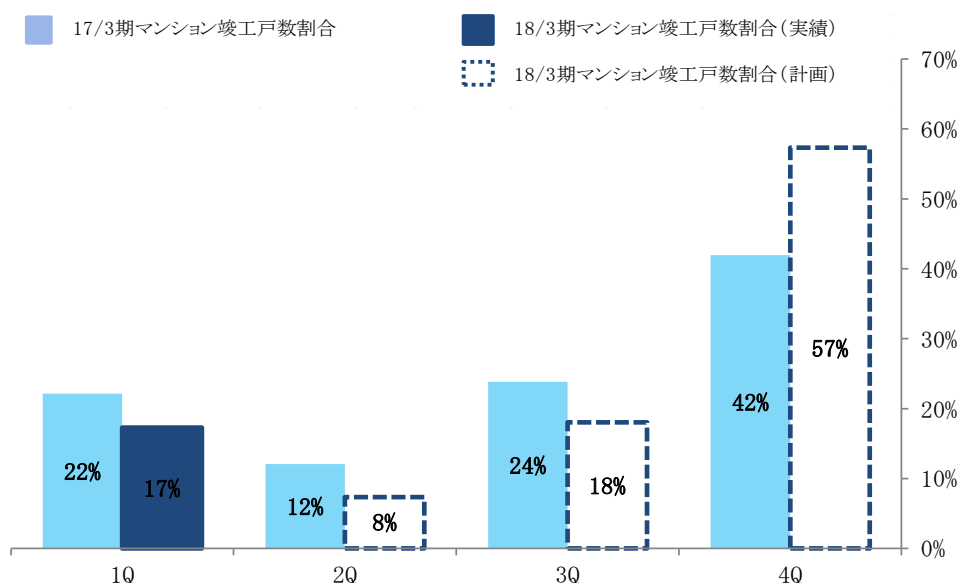
■ 連結経営成績

(金額単位：百万円)

| | 2017/3期 第1四半期 | 2018/3期 第1四半期 | 増減 | 2018/3期 通期予想 |
|------------------|------------------|------------------|--------|-----------------|
| 営業収入 | 71,383 | 64,772 | △6,610 | 340,000 |
| 営業利益 | 2,633 | 480 | △2,153 | 19,000 |
| 経常利益 | 2,496 | 469 | △2,027 | 18,000 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,405 | 156 | △1,249 | 12,000 |

(ご参考)2017年3月期と2018年3月期の四半期毎の新築マンション竣工戸数割合(※)

(※)2018年3月期の新築マンション竣工戸数の割合は、入居開始日を基準に算出しております。



■ セグメント別業績

◆ 不動産管理事業

| 営業収入 | | | 営業利益 | | |
|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 前期 | 当期 | 前年同期比 | 前期 | 当期 | 前年同期比 |
| 35,087 | 35,174 | 87 | 1,587 | 1,150 | △437 |

(百万円)

事業の要旨

- ▶ 営業収入は、ビル・施設管理の収入が前年同期比 5 億 57 百万円の減収となったものの、マンション管理の収入が同比 1 億 84 百万円の増収となったこと、およびマンション修繕工事等の収入が同比 4 億 41 百万円の増収となったことなどにより、同比 87 百万円の増収。
- ▶ 営業利益は、業容拡大に向けた人員増強に伴う人件費の増加などにより、同比 4 億 37 百万円の減益。
- ▶ マンション大規模修繕工事等の当期予想売上高 395 億円に対する当第 1 四半期末時点の売上確保率は 70% (前期末は 47%)。
- ▶ 当事業の通期予想営業収入に対する進捗率は 20% (直近 3 期の平均は 20%)。

◆ 不動産流通事業

| 営業収入 | | | 営業利益 | | |
|--------|--------|-------|------|-----|-------|
| 前期 | 当期 | 前年同期比 | 前期 | 当期 | 前年同期比 |
| 13,446 | 13,865 | 419 | 354 | 318 | △35 |

(百万円)

事業の要旨

- ▶ リノベーションマンションの売上単価が前年同期比上昇したことなどにより不動産販売収入は同比 7 億 72 百万円の増収。
- ▶ 仲介取扱件数が同比減少したことなどにより不動産売買仲介収入は同比 1 億 89 百万円の減収、およびインテリア物販収入が減少したことなどによりその他収入が同比 2 億 14 百万円の減収。
- ▶ これらの結果、営業収入は同比 4 億 19 百万円の増収。
- ▶ 営業利益は、店舗網拡大に向けた人員増強に伴う人件費の増加などにより、同比 35 百万円の減益。
- ▶ 当第 1 四半期末の店舗数は 72 店舗 (前期末は 70 店舗)。
- ▶ 当第 1 四半期末のリノベーションマンションの準備高戸数は 1,301 戸 (前期末は 1,101 戸)。
- ▶ 当事業の通期予想営業収入に対する進捗率は 21% (直近 3 期の平均は 24%)。

◆ 不動産開発事業

| 営業収入 | | | 営業利益 | | |
|--------|--------|--------|-------|------|--------|
| 前期 | 当期 | 前年同期比 | 前期 | 当期 | 前年同期比 |
| 23,978 | 17,257 | △6,721 | 1,449 | △125 | △1,574 |

(百万円)

事業の要旨

- ▶ マンションの竣工戸数は前年同期の 487 戸から、当第 1 四半期が 390 戸と少ない計画であったため、マンション販売における売上戸数は前年同期比 99 戸減の 434 戸。不動産販売の営業収入は同比 69 億 39 百万円減。
- ▶ マーケットの動向を注視しつつ適正利益の確保を最重視した販売活動を行った結果、マンション利益率は同比 1.6 ポイント増の 25.7%。
- ▶ これらの結果、営業収入は同比 67 億 21 百万円の減収、営業利益は同比 15 億 74 百万円の減益。
- ▶ 2018 年 3 月期予想売上戸数 2,400 戸に対する当第 1 四半期末時点の契約進捗率は 63% (前期末は 45%)
- ▶ 当第 1 四半期末の新築マンション未契約完成商品は 320 戸 (前期末は 294 戸)。

■ 業績予想

本年 5 月に発表した通期の業績予想に変更はありません。

以上